

▼意見等及び対応状況一覧＜令和5年度 ステークホルダーからの意見聴取＞

No.	部署名	取組名	ステークホルダー	意見の内容	改善事例
1-1	法学研究科・法学部	学生アンケート	在学生	社会人学生(大学院生)から、土曜日・日曜日も法学研究科ローライブラリー(資料室)の利用を可能にしてほしいという要望がなされた。	学生が必要とする文献を金曜日までに資料室に伝えれば、土曜日・日曜日に利用が可能になるように、資料室が文献を準備することにした。
1-2	法学研究科・法学部	学生アンケート	在学生	学部生から、自習室を開放してほしいとの要望がなされた。	コロナ禍で閉鎖していた自習室を、夏休みと春休みの期間中も含めて再び開放した。
1-3	法学研究科・法学部	学生アンケート	在学生	Echo360で自動収録している授業については、授業が延長されると配信が途切れてしまうという不満の声が寄せられた。	Echo360の自動収録の時間について設定の変更を行った。もちろん設定の変更は教員に対して授業の延長を推奨するものではなく、時間内に授業を終えるよう注意喚起はしている。
2-1	附属図書館	学生と館長・副館長との懇談会	在学生	開館時間を全体的に(総合図書館だけでなく吹田キャンパスでも)増やしてほしい。(利用方法については、学習・研究の場所として開館してほしい場合と、資料を利用したい場合があり、学生の専門分野や環境により異なる。)	2024(令和6)年度から、総合図書館(豊中キャンパス)、理工学図書館(吹田キャンパス)における開館時間を延長した。
2-2	附属図書館	「附属図書館へのご意見・ご要望について」投稿Webフォームの設置	在学生	総合図書館の開館時間を増やしてほしい。(せめて一部の階・エリアだけでも開館してほしい)	2023(令和5)年7月から、試験期に総合図書館(豊中キャンパス)の一部エリアを22時まで開館延長した。 2024(令和6)年度から、総合図書館(豊中キャンパス)、理工学図書館(吹田キャンパス)における開館時間を延長した。
2-3	附属図書館	「附属図書館へのご意見・ご要望について」投稿Webフォームの設置	在学生	理工学図書館の開館時間を増やしてほしい。	2024(令和6)年度から、総合図書館(豊中キャンパス)、理工学図書館(吹田キャンパス)における開館時間を延長した。
2-4	附属図書館	各館利用者の意見を聴取するための「ご意見箱」の設置	在学生	吹田キャンパスの図書館の開館時間を増やしてほしい。	2024(令和6)年度から、総合図書館(豊中キャンパス)、理工学図書館(吹田キャンパス)における開館時間を延長した。
2-5	附属図書館	各館利用者の意見を聴取するための「ご意見箱」の設置	在学生	理工学図書館の開館時間を増やしてほしい。	2024(令和6)年度から、総合図書館(豊中キャンパス)、理工学図書館(吹田キャンパス)における開館時間を延長した。
3-1	産業科学研究所	企業との懇談会	企業関係者	10年後のコンセプトを打ち出すことで、学際融合を徹底した産研らしさを社会に対して訴求してほしい。	企業との懇談の場で産研の研究紹介だけでなく、産研が目指す新産業テーマ、学際融合システムのパッケージ化の構想について、R6年度開催の懇談の場において研究所所長より説明を行い、企業関係者の理解を得る。
3-2	産業科学研究所	企業との懇談会	企業関係者	阪大産研らしさとその強みが公開されている各種資料からわかりづらい。他大学との違いも含めて、「産研の強み」を創造してほしい。	令和6年4月に実施した産研Webサイトの全面リニューアルを代表とする広報体制の強化改善を実施するだけでなく、年間複数回にわたって行われる産研戦略室主導の産学連携展示会において、大阪大学でしかできない、産研でしかできないイノベーション共創について、さらなる社会との対話の機会を増やし、企業関係者から見た産研の強みへの理解と新たなマーケティング実践のポイントを探索する。
4-1	蛋白質研究所	指導・助言をもとに改善策を行う。	その他	共同研究の件数が減っている	共同利用・共同研究拠点の活動に「タンパク質研究相談窓口 Pコンシェルジュ」を設置する予定であり、潜在的な共同研究の掘り起こしを行う計画を立案した。
4-2	蛋白質研究所	指導・助言をもとに改善策を行う。	その他	Cryo-EMのデータ解析のための人材育成をしてほしい。若手育成システムを蛋白研内に作り、日本のプレゼンスを高めてほしい	大学院理学研究科と共同で全学向けに「先端的研究法:低温電子顕微鏡」を集中講義として実習と講義を実施し、より一層の人材育成に務めることとした。
5-1	日本語日本文化教育センター	学務委員会における各教育プログラム(学部留学生プログラム、日本語・日本文化研修留学生プログラム、メイプル・プログラム、大阪大学ファウンデーションプログラム、大阪・マヒドン連携短期留学日本語日本文化特別プログラム)の学生を対象とした教育活動アンケート	在学生	日本語・日本文化研修留学生プログラムは、(メイプル・プログラムと異なり)箕面市の人々との交流が行われなくて残念だった。	日本語日本文化教育センター主催の箕面市の人々との地域連携イベント(ノーボーダーフェス)への参加により、箕面市の人々との交流を行うことができた。

▼意見等及び対応状況一覧＜令和5年度 ステークホルダーからの意見聴取＞

No.	部署名	取組名	ステークホルダー	意見の内容	改善事例
5-2	日本語日本文化教育センター	学務委員会における各教育プログラム(学部留学生プログラム、日本語・日本文化研修留学生プログラム、メイプル・プログラム、大阪大学ファウンデーションプログラム、大阪・マヒドン連携短期留学日本語日本文化特別プログラム)の学生を対象とした教育活動アンケート	在学生	日本語・日本文化研修留学生プログラムの研修コースであり実地に行けなかった。	研修コースの実地見学に、東大阪の工場見学を新たな見学先に加え、実地で日本のモノづくりの現場を見学できるようにした。 また、今後実地見学の企業先を増やす予定である。
5-3	日本語日本文化教育センター	学務委員会における各教育プログラム(学部留学生プログラム、日本語・日本文化研修留学生プログラム、メイプル・プログラム、大阪大学ファウンデーションプログラム、大阪・マヒドン連携短期留学日本語日本文化特別プログラム)の学生を対象とした教育活動アンケート	在学生	数学と物理が難しすぎる。生徒の学習背景はバラバラで言語も違い、学んだものも違うのに、生徒が持っているはずの知識があまりに高く期待されているように感じた。もうちょっと基礎を振り返る授業があったらよかったと思う。(大阪大学ファウンデーションプログラム)	理学部の日本人学生にも積極的にチューターに申し込んでもらえるように、理学部に依頼しチューター募集の案内を周知してもらった。
5-4	日本語日本文化教育センター	学務委員会における各教育プログラム(学部留学生プログラム、日本語・日本文化研修留学生プログラム、メイプル・プログラム、大阪大学ファウンデーションプログラム、大阪・マヒドン連携短期留学日本語日本文化特別プログラム)の学生を対象とした教育活動アンケート	在学生	日本人学生との交流の機会がもっとあればよい。(メイプル・プログラム)	R5年度秋～冬学期のメイプル・プログラム必修科目(MDR)で、クラスごとに学内ツアーを行い、日本人学生との交流スペースに留学生が足を運びやすくなるようにした。その結果、交流スペースでのイベント(言語カフェなど)に参加するなどの従来の交流活動に加え、R6年度春～夏学期には、留学生のプロジェクトの成果を交流スペースで展示してもらえるよう交渉するなど、積極的に日本人との交流スペースへの働きかけをする学生も出てきた。
6	エマージングサイエンスデザインR ³ センター	「大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム・理事会」からの意見収集	企業関係者	社会人教育に関して既存の1年間のプログラム以外に、より短い期間の俯瞰的な人材育成プログラム(特に半導体分野など)の試行を望む声が強かった。	令和4年度補正予算による「エマージング科学が駆動するものづくりエキスパート人材育成プログラム(量子エンジニアリング、半年間)を令和5年度後期に試行した。
7-1	サイバーメディアセンター	大規模計算機システム利用者アンケート	海外教育研究機関	特に若手や大学院生の利用を考えた支援があれば、非常に助かる人は多いと思う。有名な教授や研究者の支援が得られなくても、中には画期的な研究が含まれる場合もあると思う。日本の研究資源は、年々減少傾向にあり、一極集中が多く、一個人がいくつもの資源を使っている場合も多い。不公平な場合もあると思う。若い学生にもある程度自由にスパコンなどの大型計算機を使う機会を提供できれば、将来、それをきっかけに、素晴らしい研究につながる場合もあると思う。	大規模計算機システム事業で推進している公募型利用制度の改革を高性能計算機システム委員会にて行い、新たに「世界と伍する学生育成特設枠」を整備・運用している。
7-2	サイバーメディアセンター	サイバーメディアセンターホームページ	卒業生	OU-Mail(学生用及び卒業生用電子メールサービス)において、卒業後も在学時と同じメールアドレスを利用したい。	卒業後も在学時のメールアドレスを利用できるようにエイリアス機能の充実させた。(システム改修の実施)
8	学際大学院機構	大学院副専攻プログラム／大学院等高度副プログラム 情報交換会	教員	①学生募集にかかる広報やPRが乏しい。 ②合同ガイダンスの開催時期を授業開始前に早めてほしい。	①i-TGP HPをユーザー(学生)目線に改修した。 ・プログラム検索機能の追加。 ・学生・教職員用のお問い合わせフォーム開設。 ②合同ガイダンス開催日を授業開始前とした。 また、ガイダンス終了直後に行ったアンケートを踏まえ、ニーズに合わせたことで、参加者の満足度は9割近くとなった。
9-1	全学教育推進機構	クラス代表懇談会	在学生	履修登録についてわかりやすい説明がほしい。	・履修登録について先輩に相談できる機会を4月の履修登録の時期に開催した。 ・令和5年4月から、機構のウェブサイトでのAIチャットボットの試行導入を開始した。
9-2	全学教育推進機構	クラス代表懇談会	在学生	トイレを洋式にしてほしい。	令和6年度のC棟トイレ全面改修に先立ち、A棟・B棟和式トイレの洋式化等の整備を開始した。

▼意見等及び対応状況一覧＜令和5年度 ステークホルダーからの意見聴取＞

No.	部署名	取組名	ステークホルダー	意見の内容	改善事例
9-3	全学教育推進機構	クラス代表懇談会	在学生	意見への対応状況がわからない。	寄せられた意見に対する担当部署等からのコメントを機構HPに掲載した。
10-1	ダイバーシティ&インクルージョンセンター	全学一斉メールマガジンにおける教職員アンケート	教員	病児・病後児保育の対象年齢を上げてほしい	対象年齢を小学校就学前から、小学3年生まで引き上げ（アンケート実施はR5年度、対象年齢引き上げはR6年度）
10-2	ダイバーシティ&インクルージョンセンター	全学一斉メールマガジンにおける教職員アンケート	教員	産休・育休からの復帰後、搾乳・授乳のためのスペースを設置してほしい	・完全個室のベビーケアルーム「mamaro」の設置 ・D&IセンターHPに掲載していた学内のおむつ替えシート及びトイレ内ベビーチェアの設置場所一覧に、授乳スペースの場所を追記
11-1	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	参加者のスマホの着信音が気になる。	アナウンスを徹底する。
11-2	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	椅子の間隔が狭い。 スタジオの会場が少し狭く、ゆったりと音楽を楽しめなかった。 スクリーンが見えない部分があった。 照明がまともに当たって暑かった。	会場設営を工夫する。
11-3	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	空調が効きすぎて寒かった	空調設定を工夫した。
11-4	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	＜オンライン受講＞講師の音量と資料映像の音量が違うため、音量の調整が難しかった。	講師の声が小さくならないよう今年度はピンマイクを使用予定である。
11-5	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	開催時間を早くしてほしい。	週末の日中に開催することを検討している。
11-6	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	動画視聴の場合でも資料がほしい。	資料配布について今後検討する。
11-7	21世紀懐徳堂	公開講座参加者へのアンケート	その他	アンケートで「〇〇のテーマについて開催して欲しい」という意見が多数あった。	公開講座の企画・立案の際の参考としている。
11-8	21世紀懐徳堂	「サイエンスアゴラin大阪」参加者へのアンケート	その他	開場である中之島センターもとても良かったが、中之島の他の施設でも開催してほしい。	今後中之島の他の会場での開催も検討する。
11-9	21世紀懐徳堂	21世紀懐徳堂HPの改修	その他	公開講座参加者へのアンケートで「〇〇のテーマについて開催して欲しい」という意見が多数あった。	イベントアーカイブのページで、終了したイベントに「再開催リクエスト」ボタンを設置し、公開講座の企画・立案の参考としている。
11-10	21世紀懐徳堂	OUICTニュースの発行及び各施策の意見照会	教員	招へい教員等から、「ICHOメールにアクセスしたいが『アクセス権がない』旨のメッセージが表示される」等のご意見をいただいた。	招へい教員等についてはOU-Portal(ICHOトップ画面)へのアクセス権限がないため、全学IT認証基盤サービスポータルサイト(以下、「ポータルサイト」という)の「メール・掲示板等」からアクセスするとエラーになっていたため、ポータルサイトに「ICHOポータル(招へい教員等)」というボタンを新たに配置し、招へい教員等のICHO利用についての利便性を高めた。
12-1	ミュージアム・リンクス(総合学術博物館)	こどもミュージアム、わくわく学習教室参加者へのアンケート	地域住民	申込を先着順としたためすぐに締切となった。	R6年度は申込を抽選とすることとした。
12-2	ミュージアム・リンクス(総合学術博物館)	こどもミュージアム、わくわく学習教室参加者へのアンケート	地域住民	参加者の下の兄弟が実験の側に近づいたりして安全面で少し心配があった。	R6年度以降は安全面に関して教員間での認識の共有をより密にし、より考慮した形で実施することとした。
12-3	ミュージアム・リンクス(総合学術博物館)	こどもミュージアム、わくわく学習教室参加者へのアンケート	地域住民	難易度が少し高いと感じた。	次年度のテーマ決定の際に、テーマの難易度についても再度検討して決定することとした。
13	本部事務機構 教育・学生支援部	学生との懇談会	在学生	図書館の開館時間を延長してほしい。	2024年度から図書館の開館時間を延長した。